

Mizuho Daily Market Report

2023/2/3

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	128.68	128.68	▲0.30	▲1.54
EUR	1.0994	1.0910	▲0.0080	+0.0018
AUD	0.7140	0.7077	▲0.0060	▲0.0038
SGD	1.3056	1.3098	+0.0034	▲0.0022
CNY	6.7228	6.7311	▲0.0111	▲0.0534
MYR	4.2457	4.2467	▲0.0273	+0.0012
THB	32.75	32.79	▲0.05	+0.03
IDR	14875	14880	▲95	▲68
PHP	53.86	53.86	▲0.66	▲0.56
INR	81.94	82.18	+0.25	+0.59

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.393%	▲2.4 bp	▲10.2 bp
日本(10年)	0.498%	+0.6 bp	+0.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.080%	▲20.4 bp	▲13.6 bp
オーストラリア(5年)	3.255%	▲5.8 bp	+1.5 bp
シンガポール(5年)	2.786%	▲3.7 bp	+4.0 bp
中国(5年)	2.680%	▲2.8 bp	▲3.8 bp
マレーシア(5年)	3.471%	▲11.6 bp	▲3.5 bp
タイ(5年)	2.058%	▲0.7 bp	+3.6 bp
インドネシア(5年)	6.285%	▲3.4 bp	▲13.5 bp
フィリピン(5年)	5.758%	▲3.7 bp	+2.0 bp
インド(5年)	7.145%	+2.7 bp	▲1.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,053.94	▲0.1%	+0.3%
N225(日本)	27,402.05	+0.2%	+0.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,241.12	+1.7%	+1.6%
ASX(オーストラリア)	4,302.89	+1.2%	+1.2%
FTSTI(シンガポール)	3,363.68	▲0.4%	▲0.4%
SSEC(中国)	3,285.67	+0.0%	+0.6%
KLSE(マレーシア)	1,489.80	+0.3%	▲0.6%
SETI(タイ)	1,682.58	▲0.2%	+0.7%
JKSE(インドネシア)	6,890.572	+0.4%	+0.4%
PSE(フィリピン)	6,986.19	▲0.7%	▲0.8%
SENSEX(インド)	59,932.24	+0.4%	▲0.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	271.63	▲0.1%	▲2.8%
金	1,912.72	▲1.9%	▲0.9%
原油(WTI)	75.88	▲0.7%	▲6.3%
銅	9,028.25	▲0.4%	▲3.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	126.20	—	131.20
EUR/USD	1.0850	—	1.1200
AUD/USD	0.6990	—	0.7250
USD/SGD	1.2930	—	1.3180
USD/CNY	6.6800	—	6.7600
USD/MYR	4.2100	—	4.2820
USD/THB	32.50	—	33.10
USD/IDR	14850	—	15080
USD/PHP	53.80	—	54.90
USD/INR	81.60	—	82.30

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は128円台半ばの水準でオープン。FOMCにおける利上げ幅縮小の結果を受け、朝方からドル売りが強まりドル円は128円台前半まで下落。売り一巡後は時間外米長期金利が下げ渋ったことで、ドルが買い戻される動きにドル円は128円台後半まで上昇するも上値は重く、その後は売り買い交錯する中、狭いレンジで推移し、同水準を維持し海外時間へ。

アジア通貨は概ね堅調。前日のFOMCで市場がハト派な反応をしたことで、ドル売りアジア通貨買いが進行。KRW・TWD・IDRなど多くの通貨が年初からの高値を更新。SGDは約5年ぶりの高値を付けた。

海外市場のドル円は、BOEが予想通り50bpsの利上げを発表するが、MPCの一部メンバーが金利据え置きを支持したことを受けて下落したポンド円につれ安となり、128円台前半まで下落後、小幅に戻し128円台半ばの水準でNYオープン。NY時間朝方は、ECB理事会の結果を受けて下落したユーロ円につれ安となり下落するが、次第に対ユーロのドル高が強まり、米金利も下げ渋ると128円台後半まで反発。NY時間午後には128円台半ばでしっくり。翌日に米1月雇用統計やISM非製造業景況指数の発表を控え、様子見ムードから小動きとなり、結局、128円台後半の水準でクローズ。

【金利】

欧州市場では各国の金利が大幅に低下。ECB理事会では50bp利上げを決定したことに加え、3月の50bp利上げの意向が示されたものの、市場では利上げの停止が近づいたと受け止められたか。英中銀も市場予想通り50bp利上げを決定している。

米債市場ではカーブ全体で金利が小幅低下。欧州金利に追隨して金利低下するも、取引時間終盤にかけて下げ幅を縮小する展開。

【予想】

本日は米1月雇用統計に注目。直近のFOMCでは労働市場の力強さが確認されており、弱い内容には出にくいだろう。ドル円は底堅く推移すると思われるが、仮に市場予想を下回る内容となった場合、ダウンサイドリスクは大きいと思われる。

【本日の予定】

(日本) 1月 複合PMI(確) / サービス業PMI(確)
(アジア) 12月 シンガポール 小売売上高
(アジア) 12月 豪 住宅ローン額 / 投資家ローン額 / 持家住宅ローン
(アジア) 1月 インド サービス業PMI
(アジア) 1月 シンガポール PMI
(アジア) 1月 中国 CaixinPMI(サービス業)
(欧州) 12月 ユーロ圏 PPI
(欧州) 1月 ユーロ圏 サービス業PMI(確)
(欧州) 1月 独 サービス業PMI(確)
(欧州) 1月 英 外貨準備高変化 / サービス業PMI(確)
(米国) 1月 ISM非製造業景況指数
(米国) 1月 サービス業PMI(確)
(米国) 1月 失業率 予想:3.6% 前回:3.5%
(米国) 1月 平均時給 予想:0.3% 前回:0.3%
(米国) 1月 非農業部門雇用者数変化
(米国) 予想:175k 前回:223k

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。